

41007

教科書文庫

| |
|----------------|
| 4 |
| 760 |
| 41-1904 |
| 2500 300/66 |

Kodak Gray Scale



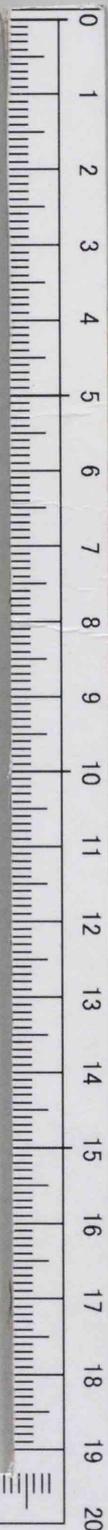
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫
4
760
41-1904
2500300166

訂正
童音唱歌集
貳

41007
760
41-1904

760類
109
2



教科書文庫
4
760
41-1904
2500300166

廣島縣
師範學校
藏書

明治三十七年三月十七日

部省檢定濟

760類
109号
2

廣師(男)登録番號
第300登録改正号
14/20

訂正
重音唱歌集
貳

廣島縣
師範學校
藏書印

小山作之助編

縣第一二〇号
和音樂
一部用教
二

合資會社
共益商社書店藏版

広島大学図書
2500300166



重音唱歌集

重音唱歌集 第二

緒言

前集既説の如く近時音樂の上進に従ひ重音式歌曲の需要日に多きを加へ月に繁きを増すの實況なるも之が材料として其供給に適應するの仕に乏しきを察し曩に重音唱歌集の發行を企圖して先づ二部唱歌を第一集となし世に公にせしが思ふに尙ほ用途の多々岳に登る如く一高一濶尺擴丈張未だ世好に充つるに足らざるを覺ゆ亦以て斯界の趨勢を卜知し我が道のため
に賀せざるを得むや

今や茲に第二集を發行す豫期の如く三部唱歌のみを收めたり而して其多數は單性(女聲或は男聲)重音式歌曲にして少數の高音(ラ、アルト)中音及び低音の複性重音式歌曲は以て子女と父兄或は生徒

と男教師又或は成女と成男との合唱に資す
 本集は前集と齊しく家庭の娛樂に供せらるべく又學校の教科
 に用ゐらるべし而して重音の第一部即ち高音部を單音式に吟
 唱するも情趣を缺損するの患なきもの尠からざれば歌曲の構
 成と實用の場合とに稽へ必しも重音式に依るを要せず又調は
 唱者の都合により多少の上下をなすも妨なし
 本書中歌曲歌章共作者の氏名を明記せざるは一は其冀望に出
 で一は其未詳に因る

明治三十四年三月

編者識

重音唱歌集 第二目次

季節の部

| | |
|-----------|-----|
| 新年..... | 五 |
| 試筆..... | 七 |
| 老木の椿..... | 九 |
| 探梅..... | 十一 |
| 春の祝..... | 十三 |
| 春の心..... | 十五 |
| 春曉..... | 六十三 |
| 郭公..... | 十七 |
| 夏の夕..... | 十九 |
| 夏の旅..... | 二十一 |

秋……………二十三

萩の野原……………二十五

紅葉狩……………二十七

静けき夕……………七十三

初冬讀書……………二十九

冬の夕……………三十一

雑の部

白玉……………三十三

燈臺……………三十五

送別歌……………三十七

告別歌……………三十九

老松……………四十一

親しき友……………四十三

老渡子……………四十五

博愛……………四十七

孤子……………四十九

慈善……………五十一

想起……………五十三

我か君……………五十七

我か國……………五十七

虹の歌……………六十七

皇國の頌……………七十七

以上

新 年

Allegro.

アロイスキー氏

サの 子ばる アルミヨノ ノグーミニ テ
の ばる あ さ ひ も う ら ら か ー に

ニと ヲし ケた キつ トけ シふ ヲは ムの カど ーか ケあ り
タと カど キろ イく サば ヲか ヲり タふ テか ーテセ マま シし

タカ キニ ウツ ルは ウグ ヒス ーハて
い は ま の み つ は こ は ー り お

五

ママ ダお フユト ゴツ ソル も ソき ノホ ード ーニ
ま だ お と ゴ ツ も き こ ー え ね ど

マナ ビノ ミチニ イソ ーシ ミテ
わ が ち ち は の い ー の か ー ぜ

タカ キろ イく サば ヲか ヲり タふ テか ーテセ マま シし

幸ある御代の、めぐみにて、
ゆたけき年を、迎へけり、
高きに移る、うぐひすは、
まだ冬ごもる、そのほごに、
學びの道に、いそしみて、
高き功績を、たて、まし。

其 一

岩 昇るあさ日も、うら、かに、
岩間の水は、氷りゐて、
岩のまだおとづれも、聞えねど、
岩の父の、家の風、吹かせまし。

其 二

○新年

其 一

加部 嚴 夫

試 筆

徐カニ シュルツ氏

フリニシキアトタエテ
ふるすをいキノアトタエテ

ノキバノウメモサキニケリ
たかばよめもさきすけり

ケサスリソメシワガスマ
けさすりそめしわがすみ

七

メデタキカヲリソヒタリヤ
めでたきかはりそひたりや

○ 試 筆

其 一

ふりにし雪の、あご絶えて、
軒端の梅も、咲きにけり。

今朝すり初めし、わが墨の、

芽出たき薫、そひたりや。

其 二

故巢をいで、うぐひすも、

たかきに移る、聲すなり。

けさ書きそめし、我が筆の、

芽出たき花は、増したりや。

老木の椿

緩カニ

トてテるハ
ラれキツヅ
サたヌシミ
ラだラビハ
サえツヤカ
ニクニをシ
シろトカツ
ウイイヒウ
ノリノキラ
ヘドトよゲ
イみハキカ

リよムマツ
アゲラエツ
レカルキレ
ガタクげガ
ナシツカナ
ルるヤはク
ム一ワ一ナ
スハハト
ミはキのム
一お一ツ
ユシロたド
アサマヨ

ノつ子ヨモ
トつサラル
モめカでハ
トつミるノ
トツフ
ヒアツフ
テをヲのキ
一ーた一
ヒふナホバ
ソハハアツ
ニルシのノ
レたヒ一キ
ガチロはイ
ナオヒカオ

シリムぬル
カホラれチ
タボクカゾ
一ー一
ゲそツヅナ
カアキキハ
キはヤはタ
一ー一
ツコヤはテ
ノのノキ
キリ一ツサ
イタナナ
オふハハ

九

○老木の椿

佐々木信綱

家のうしろに、さらくど、
ながれにそひて、一本の、
みどり色こく、枝たれて、
落ちたる花を、あつめつ、
はなだの糸に、つらぬきて、
ひろひし花を、つみかさね、
清きひかりを、やどしつる、
川のあなたの、古寺に、
かげをうつし、川水は、
老木の椿 この春も、
あゆみす、むる、ながれあり、
老木の椿 かげたかし、
さしおほひたる、下かげに、
ふたりの子らは、遊ぶなり、
まろき花わや、つくるらむ、
花の山をや、きづくらむ、
二つの星は、かげきえて、
二つの墓は、きづかれぬ、
よごむ時なく、ながれつ、
花咲きてまた、花を散る、

○探

梅

渡邊文雄

其 一

氷もいまは、あとなくきえ、ふちには魚の、をざるも見ゆ、
鳶どぶそらを、うちあふげば、はるの緑ぞ、満ちわたれる。

其 二

古巢をいで、啼くうぐひす、小松のかげに、ともを呼ぶ、
わかき萌ゆる、野邊に来れば、梅のかをりぞ、ほのかにたつ。

其 三

柴折戸たて、やさしき家は、はな咲く宿は、こゝと知らる、
霞をもる、春のかせは、蝶の羽袖に、たはむれ居る。

其 四

夕月しろく、木の間に見え、牛追ふ子らも、かへり行く、
野邊守る老翁は、われを呼びて、花のさかりに、復といひぬ。

探 梅

Allegretto

Musical notation for the first system of the song. It consists of a treble and bass staff with lyrics written below the notes.

Musical notation for the second system of the song. It consists of a treble and bass staff with lyrics written below the notes.

Musical notation for the third system of the song. It consists of a treble and bass staff with lyrics written below the notes.

十一

Musical notation for the fourth system of the song. It consists of a treble and bass staff with lyrics written below the notes.

春の祝

爽快

ウレシヤタノシヤケフノヨキヒ ヤソトリウタヒモモハナニホフ
うれしやたのしやけふのよきひ こちかぜそよぎあをやぎけふる

メデタキミヨノヨロコビタエズヨロコビタエズ
のどけきはるのたのしみつきずたのしみつきず

十三

イハハヤイガモロビトイハハヤイガモロビト
うたへやいざもろびとうたへやうたへやいざもろびと
イハハヤイハハヤ イハハヤイハハヤ
うたへやうたへや うたへやうたへや

○春の祝

東宮鐵眞呂

十二

其 一

うれしや たのしや、 今日けふのよき日、
八十やそ鳥とり うたひ、 百もも花はな 匂におふ、

めでたき御代みよの、 よろこび絶たえず、
祝いわへやいざ諸人もろびと、 いはへ祝いわへや、
率しやうもろびこ、

其 二

嬉うれしや樂たのしや、 けふの吉よき日、
こち風かぜそよぎ、 青柳あおやなぎけふる、

のどけき春はるの、 たのしみ盡つきず、
歌うたへや率しやうもろびこ、 歌うたへうたへや、
率しやうもろびこ、

春の心

Allegretto. ハイムシュエ氏

mf スク ミチノ ト コロ ニ ハ ナ ノ エ ダ ニ
く ち な し 色 に 白 妙 に

mf オモ ヲ マ ニ マ ニ ア ソ ビ ツ ー ツ
舞 ふ や 蝴 蝶 の こ ゝ ろ こ そ

か ア マ ソ フ ビ ヤ ツ カ レ テ イ コ ヌ ル ホ ド ノ
い ふ べ け れ

十五 *poco rit.*

mf ユ メ ナ モ イ カ ニ ヤ ス ー カ ラ ム
は る の こ こ ろ と い ふ ー べ け れ

○春の心

佐々木信綱

其 一
菫の床に、花のえだに、

思ふまに、遊びつゝ、

遊びつかれて、いぬるほどの、

夢路もいかに、やすからむ。

其 二

くちなし色に、白妙に、

そめし羽袖を、ひるがへし、

舞ふや蝴蝶の、こゝろこそ、

春の心さ、いふべけれ。

郭 公

Allegro.

キカマホシサニアシビキノヤマキヲ
ゆめうちさめてあがむかればのまきのらし

(アルトスハベース)

ワケテタツネキツソノカヒアラハク
づくもおとたえてくもまはきあ

ヒートコーエヲワレニハモラセホトトギ
つーきかーげよやまほととぎすあのるあ

十七

スワレニハモラセヤヨホトトギスリ
りやまほととぎすアレあのるあ

○ 郭 公

其 一

聞かまほしさに、足引の、
山路をわけて、尋ね来つ、

その甲斐あらば、一ひと聲を、
われにはもらせ、ヤヨ郭公

其 二

夢うちさめて、ながむれば、
軒のしづくも、音がたえて、

雲間はれゆく、月かげに、
やま時鳥アレなるなり。

十六

夏の夕

ホッフマン氏

f ノキバニチカキ ヒグラシノ
かやりのけぶり いぶせきに

コエハイツシカ シツマーリテ
そこともわかず とめくきば

ツキ

mf ツキマツホドノ オバシマ
いづこもおあじ ゆふやみの

マツホドノオバシマ ヲワタ
かあであふやみの

十九

f タルカゼコソ スズシケレ
そらにはたの とびかひて

ルカゼコソ
にはたの

○夏の夕

其一

軒端に近き、日ぐらしの、
聲はいつしか、静まりて、

月待つほごの、おぼしまを、

わたる風こそ、涼しけれ。

其二

蚊やりの烟、いぶせきに、

そこもわかず、ごめくれば、

いづこも同じ、夕やみの、

空にはたるの、飛びかひて。

十八

夏の旅

中庸 = *mf* ロイド氏

タモトニカヨフユフーカゼニシ
 やすらふここのやまかげはは

cres.

バシハナツモワスレケリタ
 やくもあきのかよふらしつ

ビノツカレニタニガハノナガレニ
 きのひかりのすずしきよまつむし

二十一

rall. *a. tempo.*

ツミテヤスラハバシハナ
 ずむしねふたててはやくもあ

ツモワスレケリワスレケリワ
 きのかよふらえかよふらし

スレケリアア *mf* アア
 よふらしああ

○夏の旅

二十

其一

袂にかよふ、夕風に、
 しばしは夏も、わすれけり、
 旅のつかれに、谷川の、
 流にのぞみて、やすらへば、

しばしは夏も、忘れけり、

ア、忘れけり……ア、ア、

其二

やすらふこの、山陰は、

早くも秋の、通ふらし、

月のひかりの、涼しさに、

松虫鈴虫、音にたて、

早くも秋の、通ふらし、

ア、かよふらし……ア、ア、

秋

Allegro.

Musical notation for the first system of the left page, including piano accompaniment and vocal line with lyrics.

Musical notation for the second system of the left page, including piano accompaniment and vocal line with lyrics.

Musical notation for the third system of the left page, including piano accompaniment and vocal line with lyrics.

Musical notation for the fourth system of the left page, including piano accompaniment and vocal line with lyrics.

Musical notation for the first system of the right page, including piano accompaniment and vocal line with lyrics.

Lyrics for the right page, including the title '秋' and several stanzas of text.

秋

萩の野原

爽快ニ アプト氏

アキノアサカゼハからつもヒワヤカマ
けきはまだきにしからつもヒワヤカマ

(アルト或バス)

チシハギミノト一キハキのタリム
かれみはやすは一ぎののはら

ラゴノムラサキマラニイロドリイ
ろしきふぜいやうがつしてうゑてむ

マサキニホフハギノノハラ一イ
しのねあがらこのひとむら

ザミニユカムトモヨトモヨ
まこそみごろはモギののほら

萩の野原 其 一
秋の朝風
待ちし萩見の
村濃の紫
今咲きほふ
いざ見に行かむ
其 二
けさはまだきに
うかれ見はやす
よろしき風情や
虫の音ながら
今こそ見ごろ

萩の野原 鳥居 枕
肌もひやか
時は来たり
まだらに彩り
萩の野原
友よ友よ
白露分けつゝ
萩の野原
うつして植ゑてむ
此の野原

紅葉狩

英調的ニ. アプト氏

mf イクヘノクモキリ カキワケツツ
みるめもまばゆ く うちかざり て
モミチヲメデテ ハ ウチカタラ ヒ

(アルトスハベース)

クモキリ
まばゆハ
ワケツツ
チカタラヒ

シヤマヂノ カヒアリケリ
かちけむハ タつたオヒ のス

p

マヂノ
チけむハ
アヒオケ
ハモヒス

二十七

ニミワタカギリハモ mf タダイグチムラノアヤニシ
そけだはわがどキ ァいわがと一もどちいざやいざ
ヤママアフトモガキ アナキヤウフーカシヤケフノマト

カガリハ
わがとも
トモガキ
アアア
アアア
アアア

キヤキ f トカツ バリトカツ リコサヘ カクコ カラヨ ゲサヒ テメハ マモモ クミナ トチノ ヒノヒ キカカ テリ

f トカツ バリトカツ リコサヘ カクコ カラヨ ゲサヒ テメハ マモモ クミナ トチノ ヒノヒ キカカ テリ

月ああも紅葉狩い待ち誰見帷た高間幾
さななみち葉りざちをかるると嶺ひ重
へ興面白をををををををををををををを
今深か折りて、其暮が友人こ眩
香ししてはは、は、は、は、は、は、は、は、は、
は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
三 二 一

○紅葉狩

中村秋香

二十六

望今魂歌う 紅い蓋龍う、 幕綾見峽搔
日合ち 葉ざは田ち と 波すあき
ののふ思語た、 葉や我が飾 引やかざり
圓友ら のいざ姫り ききり
光居垣すひ 蔭かやものて て錦は

冬の夕

感ヲ以テ グレース氏

コいヒ ガリガ ラあシ シヒニ サツニ ムンシ キるニ ユカホ フねシ ベのノ ソ多カ ラモリ

子おキ グばラ ラツメ ヲかキ サあツ シシメ テヤツ イクイ ソもツ ゲのツ カあナ ラあナ スタツ

三十一

イクイ ソもツ グのツ カあナ ラあナ スタツ

○冬の夕

其 一

こがらし寒き、夕の空、
ねぐらをさして、いそぐ鴉

其 二

いりあひつぐる、鐘の聲も、
おぼつかなしや、雲のあなた

其 三

ひがしににしに、星の光
きらめきそめつ、五つ七つ

白 玉

ラドシ シあワ
ズのニ エミマ
ラふヤ シあミ
ニツカ トはタ
ヒとフ ハリノ
マふニ タれタ
ララブ シあシ

ワタミ シたミ
モモモ トドニ
ズれハ ズレハ
ラレシ シカサ
シギフ シギフ
ヨふチ モヤム
トはコ トはコ
ズカヅ

シギフ シギフ
ヨふチ ヨふチ
モヤム モヤム
トはコ トはコ
ズカヅ ズカヅ
ラドシ ラドシ
シあワ シあワ
ハふニ ハふニ
ラチメ ラチメ
レふタ レふタ
シあミ シあミ
シもガ シもガ

○ 白 玉

古

歌

白玉は、人に知らえず、知らずこらよし、
知らずともよし、

霰降り、遠つ近江の、吾跡河(名地)柳
あごかはやなぎ

澁谷(名地)の、二上山に、鷺ぞ子産ちふ、
わしぞこむちふ、

指羽にも、

君がみために、

燈 臺

オモカチトカチ
ハテナキミ

ヤミヨノフナ
モダフネ

ウレシキマナ
メデタキ

エタリノヒト
ラムカシヤハシ

はてなき海路の望はいつ
百艦千艦の望はいつ
昔は知らぬ火の御代今
めではたき光は、この燈臺ぞ、

其の父の望はいつ
三の母の望はいつ
其の父の望はいつ
三の母の望はいつ

しつ雨夜に、陰火か星か、
畝立つ浪の上、光のますは、
うれしやこれこそ、示るべ
船子の父の望はいつ
海路の神ぞ、

嬉しき眼は、火影にそ、ぐ、
えたりの一、聲、
おもかちとりかち、磁石のしるべ、
やみよの船脚、あてなきをりに、

○ 燈

臺

旗野十一郎

送 別 歌

Moderato.

ツキユキ ホータル ト マナ ビノ マー ドニ
かなづる しーらべーは ひ と ふ し ほー がら

ハヤクモ スーギケーリ コノ ト シン ツー キヒ
わかるる おーもひーは せ ん ま ん むー りやー

ワーガミニ ソーヘタル ヒーカリ ラ ツトニ
いーまふーり まーすます そーのみ を を さ めー

カヘレヤ ヒートビート フルサト サーシテ
いへをも ヒーとのーへ くみに も つーくせ

三十七

○ 送 別 歌

其 一

月 雪 螢 雪 學 び の 窓 に、
早くも過ぎけり、この年月日、

我が身に添へたる、光をつとに、

歸れや人びと、郷里さして

其 二

かなづる志らへは、一ふしながら、

別る、思は、千萬無量

今より益ます、其身を修め、

家をも齊へ、國にもつくせ。

三十六

告 別 歌

Andantino. シルヘルロ

オ サ ラ バ サ ラ バ イーザーサー ラ バ
 マ サ キ ク ア ラ バ イーソカ マ タ
 マ ナ ビ ノ マ ド ノ ヒーカリー ト モ

シ キ ミ モ マ サ キ ク mf イーマセーカシ
 ア ヒ ミ ル ア ト キ モ アーリーヌ ベシ

ト ハ ミ ト テ サ キ リ シ ソ グ ミ テ フ タ ケ テ ニ シ ト ヒ
 オ サ ラ バ サ ラ バ イーザイガ サ ラ バ キ ミ セ マ
 シ ノ キ ミ

三十九

ガ シーニ p ワ カ ルー ト モ p イ マ ヒー カシ
 サーキーケー

○ 告 別 歌

宮崎八百吉

三十八

おさらばさらば、率さらば、
 君も眞幸く、在せかし、
 常磐にご契りし、その手を分けて、
 西ご東に、別るごも、
 まさきくあらば、いつかまた、
 逢見^{あひま}る時もありぬべし、
 おさらばさらば、いざくさらば、
 君もまさきく、いませかし。

老 松

Allegretto ルーミス氏

(獨唱) ハルハ —ミドリ ノ —ニホヒ —メデタク —

(合唱) ハルハ ミドリノ ニホヒ メデタク

ナツハ —コカゲニ —アツサ —ワスラ ル —

ナツハ コカゲニ アツサワスラ ル —

ユキノ —アシタモ —ツキノ —ユフベモ —

ユキノ アシタモ ツキノ ユフベモ

四十一

ナガメ —ユカシキ —ニハノ —オイマツ —

ナガメ ユカシキ ニハノ オイマツ

ながめゆかしき、
 雪のあしたも、
 夏は木かげに、
 春はみごりの、
 庭の老松、
 月の夕も、
 暑さ忘らる、
 匂めたく、

○老松

四十

親しき友

シルヘル氏

コボルルナミオナジソデーニ
のヤマのハミハオハナジソデーニ

アマレヨロコヒオナジソデーニ
ミラニハシコハカガヤクデーニ

ヒトシクワカツトモシナクバ
したしきとものあきよあらば

コノヨハイカニサビシカラム
このよはいかにさびしからむ

四十三

○親しき友

佐々木信綱

四十二

其 一

こぼるゝ涙同じ袖に、

あまれる喜同じ袖に、

ひごしくわかつ友しなくば、

此世はいかにさびしからむ。

其 二

野山の花はほゝゑむごも、

みそらに星はかゝやくごも、

親しき友のなき世ならば、

この世はいかにさびしからむ。

老 渡 子

感ヲ以テ

サスーヤヲブ子ノ ミナレーサーヲ
おくーりむかふと あさゆーふーに

ミナレーシヒトノ オホカターハ
おふーじぶがれせ やききしーて

ヨドミューウカブウタカターノ
いくとーしーかみせこのかーはーの

四十五

キエーテアトナク ナリーケーリ
おふーじわたせま おくりーけーむ

○老 渡 子

其 一

さすや小舟の、
みなれし人の、
よごみに浮かぶ、
消えてあこなく、

みなれさを、
おほかたは、
うたかたの、
なりにけり。

其 二

送りむかふこ、
同じながれを、
いく年なみを、
同じ渡瀬に、

朝ゆふに、
ゆきゝして、
この川の、
送りけむ。

佐々木信綱

四十四

博 愛

クーン氏

ハルノユフベニフクカゼーヤ オノガココ
あきのあきけーのしちつゆーやおのがこ

ロノノドカナレバーウメーモモサク ラ
ろのきよらふればーももーくさちぐさ

四十七

サークーハナノカニカホー ル
さーくーはふのいろよてーる

カニカホー ル
いろよてーる

○博 愛

旗野十一郎

四十六

其 一
春の夕に、吹く風や、
おのが心の、のどかなれば、

梅 桃 櫻

さく花の、香にかをら

其 二

秋のあさけの、白露や、

おのがこころの、きよらなれば、

百 草 千 草

咲く花の、色に咲る。

孤 子

Lento. シューマン氏

アはオた
キはモの
カセヒし
ゼのニと
サもフみ
ムクツ
クヂル
フチ子心
クるヤめ
アもノは
カふウさ
ツぐチめ
キレニて

ナホトは
ククバダ
ミミカへ
ノのりに
ムむカさ
シしへむ
ハはルし
チはムよ
チはカは
カカシの
コしノあ
フたハラ
ルフルし

○ 孤 子

其 一 秋風さむく、吹くあかつき、

なくみのむしは、父かこふる

其 二 は、その紅葉、散る夕暮、

なくみのむしは、母かしたふ

其 三 思ひにふる、ねやのうちに、

そばかりかへる、むかしの春

其 四 たのしき見つる、夢はさめて、

はだへにさむし、夜半の嵐

慈 善

感ヲ以テ

グローヴァ氏

Musical notation with lyrics: フカサハカレバウミモオヨバズギ
のどけきすがたはかぜのあをやぎ

Musical notation with lyrics: タカサアフゲバヤマカ-ツ-ヒクシラ
めでたきけはひはあさひの-さく

Musical notation with lyrics: カレツルコズラエウ
ハナヒワキ

Musical notation with lyrics: クチニシサエダーモ
ふきけのはるかぜ ミヲムスブ
いづちよる

Musical notation with lyrics: オモハバウレシキジヒノメゴミヤ
おもへばただしきじひのめぐもや

Musical notation with lyrics: オモハバカシコ-キジゼンノトクヤ
おもへばたふと-きじぜん のとくがや
ジゼンノトクヤ

○慈 善

其一 中村秋香

思へば嬉しき、慈悲のめぐみや、
思へば畏き、慈悲のめぐみや、
思へば嬉しき、慈悲のめぐみや、
思へば畏き、慈悲のめぐみや、
思へば嬉しき、慈悲のめぐみや、
思へば畏き、慈悲のめぐみや、

其二

のどけき姿は、風の青柳
めでたきけはひは、旭の袖分りす
めぐみの白露の春風いづちにも
なさけの春風いづちにも
思へば正しき、慈悲のめぐみや、
思へば尊き、慈悲のめぐみや、

○我が君

鳥居 忱

我が君、我が君、我が君かしこ、我が君かしこ。

我が君は、日の御子。わが君は、神の御末。

日の國、神の國を、まこしなへに、ましらす君ぞ。

天津日の、輝く限り、我が君は、いよゝさかえむ。

○我が國

同 上

我が國、わが國、我が國たふご、わが國たふご。

我が國は、日の國。わが國は、神の御國。

日の御子、神の御子の、まこしなへに、ましらす國ぞ。

天地の動がぬ限り、我が國は、いよゝさかえむ。

我が君 我が國

餘り遅クナク

シュナーベル氏

ワガキミ ワガキミ

ワガキミカシニコト
ワガキミカシニコト

ワガキミカシニコト
ワガキミカシニコト

五十七

ワガキミカシニコト
ワガキミカシニコト

エヨシノクニカミノクニ
エヨシノクニカミノクニ

ナハニシラスキミゾア
ナハニシラスキミゾア

マクカギリワガキ
マクカギリワガキ

ハハ イヨヨサカカ
ハハ イヨヨサカカ

五十六

○春 曉

中村 秋香

五十八

霞かすみに 匂におふ、 遠山とほやまもこの、
花はなよりしらむ、 曙あけぼのの 空そら、
罍たいを出いで、 行ゆくむら 鴉からす
あれあれ啼なきて、 三っ 四っ 二っ。

(部一 獨唱) 見みはてぬ夢ゆめの、 ゆくへやいつら。

(部二 獨唱) 別わかる、 峯みねの、 あの横雲よこぐもか。

(部三 獨唱) 啼なくうぐひすの、 やどりやいつこ。

まだ夜よを殘のこす、 あのたかむらか。

袂たもとに かるく、 吹ふく朝風あさかぜに、

ほろく／＼ほろこ、 落おつる 露つゆ。

ひらく／＼ひらこ、 散ちる櫻さくらア、

かすみのにほふ、 とほやまもこの、

はなよりしらむ、 あけぼののそら。

ねぐらをいで、 ゆくむらがらす、

あれあれなきて、 みつよつふたつ。

朧夜おぼろよは明あけにけり、 あはれれく。

五十九

春 曉 (六十二頁よりつづく)

独唱, 第三声部.
ノ ア ノ ヨ コ グ モ カ ナ ク ウ グ ヒ ス ノ ヤ ド
pi lento.

リ ヤ イ ツ コ マ ダ ヨ マ ノ コ ス ア ノ タ カ ム ラ カ

タ モ ト ニ カ ロ ク フ ク ア サ カ ゼ ニ ホ ロ ホ ロ ホ ロ ト オ ツ
カ ゼ
8va.

春 曉 (六十一頁よりつづく)

ヒ ラ ト
ル ツ ユ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ト チ ル サ ク ラ ア
8va.

結部.
オ ボ ロ ヨ ハ
オ ボ ロ ヨ ハ ア ケ ニ ケ リ ア ハ
オ ボ ロ ヨ ハ ア ケ ニ ケ リ

ア ハ
8va.
pp

春 曉

前奏

8va

ライヒルツ氏

Vivace.

カ ス ミ ニ ニ ホ フ ト ホ ヤ マ セ ト

ノ ハ ナ ヨ リ シ ラ ム ア ケ ホ フ ノ リ

春 曉

(六十一頁へつづく)

ア レ ナ キ テ

ナ キ テー ミ ツ コ ツ フ タ ツ

dim.

1. 獨唱、續ク 2. 結部ニ續ク

dim.

獨唱、第一声部 獨唱、第二声部

ミ ハ テ ス ヌ メ カ ー ユ ク ヘ マ イ ヅ ラ ワ カ ル ル ミ 子

虹の歌

Allegretto.

ロッシーニ氏

Musical notation for the first system on page 65, including treble and bass staves.

Musical notation for the second system on page 65, including treble and bass staves.

Musical notation for the third system on page 65, including treble and bass staves with lyrics.

Musical notation for the fourth system on page 65, including treble and bass staves.

Musical notation for the fifth system on page 65, including treble and bass staves with lyrics.

Musical notation for the sixth system on page 65, including treble and bass staves.

虹の歌

(六十五頁へつゞく)

Musical notation for the first system on page 66, including treble and bass staves with lyrics.

Musical notation for the second system on page 66, including treble and bass staves.

Musical notation for the third system on page 66, including treble and bass staves with lyrics.

Musical notation for the fourth system on page 66, including treble and bass staves.

Musical notation for the fifth system on page 66, including treble and bass staves with lyrics.

Musical notation for the sixth system on page 66, including treble and bass staves.

静けき夕 (七十頁よりつづく)

Three staves of musical notation. The top two staves are vocal lines in G major, and the bottom staff is a piano accompaniment. The lyrics are written below the vocal lines.

ニ アハレ イソギ ユ ク ヨ
 ア アハレ イソギ

ハ音ト共=



○ 静けき夕

萩^{はぎ}ふくうは風^{かぜ} 静^{しず}かになりて、ア、
 小萩^{こはぎ}のした露^{つゆ} おきそふ夕^{ゆふ}、
 (甲) 花野^{はなの}をくゞりて、 行く川^{かは}水^{みづ}に、
 (乙) うつる星^{ほし}のかげ、 三^{さん}四^し二^に三^{さん}四^し、
 やごれる光^{ひかり}は、 よごむと見^みれど、ア、
 よるひるわかたず、 流^{なが}るゝ水^{みづ}よ、ア、ア、ア、
 あはれ、いかに、 思^{おも}ひせまりて、
 いづこのはてに、 あゝ あはれ、いそぎ行くよ。

静けき夕 (七十二頁よりつづく)

ミツヨ ッ マドレ ルヒカリ ハヨド
 ッ ヨ ッ
 ッ ヨ ッ

八音ト共ニ

ムトミレド ア コルヒ ルワカタ ズナガ
 アア
 アア

八音ト共ニ

七十一

静けき夕 (六十九頁よりつづく)

ル ル ミツヨ ア ハレ イーカ ニーカ
 アアアアアア アア

八音ト共ニ

オモヒセマリーテ イツコーノーハーテ
 アア アア アア アア

tr.

七十

静 け き 夕

Andante.

フロートー氏

ヨギフ クウハ カ ゼ シツカ ニ ナリ

テ ア コハヤ ノシタ ツ ヌ オキソフ ヌフ

ア ア

八音ト共ニ

ハナノ ヲク グリーテ ヌクカ ハミーツ

ハナノ ヲクグリーテ ヌク

ニ ホ シノーカゲ コツマ

カハミツニウツルホシノーカゲミツヨツノダ

八音ト共ニ

静 け き 夕

(七十一頁へつゞく)

ハナノ ヲク グリーテ ヌクカ ハミーツ

ハナノ ヲクグリーテ ヌク

ニ ホ シノーカゲ コツマ

カハミツニウツルホシノーカゲミツヨツノダ

八音ト共ニ

八音ト共ニ

八音ト共ニ

皇國の頌 (七十六頁よりつゞく)

あはれ 我が國
 あはれ 我が君
 たふごや、
 かしこや、
 常磐の御代ぞ、
 常磐の國ぞ、
 國内はゆたけし、
 日嗣ははてなく、
 天地開けて、
 我が君定まり、
 わが國成れり、
 ○皇國の頌
 東宮鐵眞呂

皇國の頌

中庸ニ 独唱 メンデルスゾーン氏

アメ ッ チヒラ ケテワ ガ キミサ ダ

マ リ ワ ガ ク ニー ナー レ リ ア メ ッ チヒラ

ケテワ ガ キミサ ダ マリワガクニナーレ

皇國の頌 (七十五頁へつゞく)

独唱 合唱

リ ヒ ッ ギ ハ ハ テ ナー ク フ ヒ ッ ギ ハ ハ テ

ナーククヌチハユタケニシクヌチハユタ

ケーシトキハノミヨヅカキハノクニ



明明明明明明
 治治治治治治
 三三三三三四
 十十十十十四
 四四七八九十
 年年年年年年
 四四五三二四
 月月月月月月
 十十八三十二
 三六八三十七
 日日日日日日
 印發三四五六
 版版版版版版
 發行發行發行
 行行行行行行

(定價七拾錢)

編者 東京市小石川區關口臺町五七番地
 小山作之助

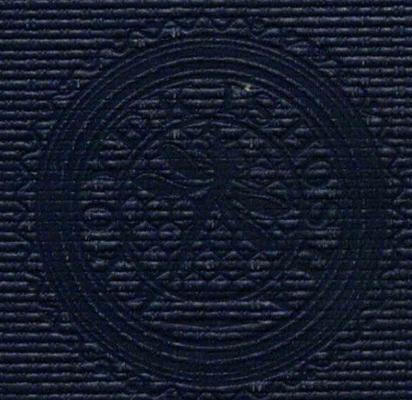
發行者 東京市芝區芝公園第十八号地五番
 合資 共益商社書店

代表者 白井直

印刷者 東京市芝區南佐久間町二丁目三番地
 積田益太郎

發行所 東京市芝區芝公園第十八号地五番
 合資 共益商社書店

(電話 芝五二七番)
 (東京振替貯金會五八〇番)



広島大学図書

2500300166

